

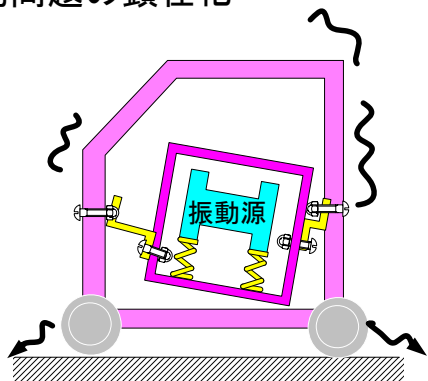
機器の低振動化のための振動予測・制御技術の開発①

研究代表者 岡山県工業技術センター 辻 善夫

1. 目的

問題点

- 接合部のモデル化が困難なため、振動予測精度が低い
- 機器の小型、軽量化による振動問題の顕在化



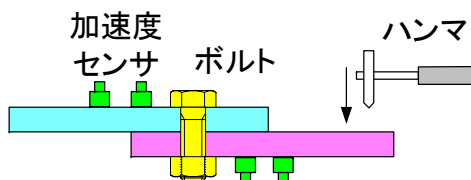
回転自由度を考慮した
接合部の振動伝達特性のモデル化

高精度振動予測プログラムの開発

2. 研究内容

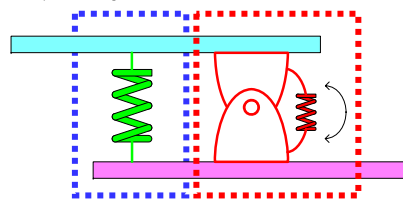
H19年度

- 回転自由度を考慮した振動計測システムの構築



- 接合部の振動伝達特性に影響を与える因子の抽出

- 接合部の振動伝達特性のモデル化



並進部 回転部

- 回転自由度を考慮した振動予測プログラムの開発

3. 効果

接合部の回転自由度を考慮した高精度振動予測プログラムの開発



装置全体の振動予測精度の向上



- 機器の低振動化
- 振動対策コストの削減